

2024年(令和6年)4月9日(火曜日)

源兵衛川の再生 参考に

台湾・雲林県の幹部ら視察

三島・NPO 街全体での川づくり強調



源兵衛川を視察する雲林県の幹部ら＝三島市で

水辺を生かした街づくりの参考にしようと、台湾中部・雲林県の幹部や雲林科

技大学(同県)の教員ら16人が8日、三島市の源兵衛川などを視察した。9日ま

で滞在し、源兵衛川が水質汚染から再生した過程などを学ぶ。

雲林県には「雲林溪」があり、環境教育に力を入れている。三島市と似た環境にあるとして、自然環境の改善に取り組むNPO法人「グラウンドワーク三島」(同市)が視察の受け入れ先となった。

グラウンドワーク三島事務所では、渡辺豊博専務理事が、源兵衛川を巡るこれまでの歴史などについて説明。「源兵衛川が再生できた最大の理由は行政や農業、さらに市民などたくさんの方の知恵を集めたことだ」と話し、川を整備するだけでなく、街全体を活性化させるための取り組みの重要性を強調した。

その後、参加者らは源兵衛川べりなどを歩き、水辺

を生かした街の実際の雰囲気を感じた。雲林県の謝淑亜副県長(64)は「市民の意見も大切にして、市全体で協同意識を持って川づくりに取り組むことを学んだ。長い時間をかけて得ら

れる価値を参考にしていきたい」と語った。

参加者らは9日、三島市民文化会館で「日台交流・河川整備フォーラム」を開催し、意見交換する。

(岩崎加奈)